

艇跡

2005年4月号

発行:名古屋工業大学漕艇部

編集:神原 あい

寒さも和らぎ暖かな陽射しを浴びている今日この頃、いかがお過ごしでしょうか。
エルゴ大会も終わり、今まで支えてくださった先輩方も新たな道へ進まれました。また記念すべき50回目として注目を浴びた名大・名工大戦から今シーズンも幕を開けました。



今月号のトピックス

- ☞ 第2回エルゴ大会
- ☞ 送別会
- ☞ 第50回名大・名工大戦
 - 女子シングルスカル初勝利 ♪
- ☞ 中日本レガッタ
 - 男子シングルスカル名工大初優勝
 - 男子ダブルスカル4位★
 - 女子シングルスカル準決勝進出
- ☞ お詫び
- ☞ 今後の予定

☆第2回エルゴ大会☆

冬のトレーニングの大イベントであるエルゴ大会が行われました。
 前回のエルゴ大会に比べ1年生3人ともタイムが伸びました。

日程：2005年2月13日(日)

場所：愛知県愛知郡東郷町 東郷町総合体育館

		500m	1000m	1500m	2000m
4年	西雪健次朗	1'40	3'23	5'14	7'05"7
3年	下手貴史	1'41	3'25	5'11	6'57"8
3年	天野賢治	1'50	3'44	5'40	7'34"4
1年	阿葉家淳	1'49	3'46	5'46	7'45"8
1年	平雄二	1'44	3'35	5'33	7'30"1
1年	土岐良太	1'43	3'33	5'14	7'05"7



4年澤津は世界選手権により、また2年石川、遠藤は体調不良のため出場することができませんでした。

☆送別会☆

3月12日(土)、アパホテル(旧不二パークホテル)にて送別会が行われました。皆さまご多忙の中お越し頂きありがとうございました。今年の卒業生は、羽生田さん、西雪さん、小島さん、小掠さん、荻須さん、服部さんの6人でした。この学年はとても仲の良い方々でみんな羨ましかったです。昨シーズンは全日本選手権、全日本大学選手権共に、準決勝進出など数多くの優秀な成績を収めてこられました。

今後、西雪さんは名工大でボートを漕ぎつづけ、羽生田さん、小島さん、小掠さんはコーチとしてご指導いただきます。荻須さん、服部さんにはこれからOGとして全力でサポートしていくと熱いお言葉をいただきました。



また、卒業記念品は寄せ書きを書いたオールに花束を添えて贈りました。

☆送別会に来てくださった方々(敬称略)☆

卒業年度	学科	御名前	卒業年度	学科	御名前	卒業年度	学科	御名前
S36	E	神谷昌宏(会長)	S48	W	衣斐洋一(副会長)	S53	M	佐野武雄(監督)
S53	E	川村信之	S57	E	竹下隆晴(部長)	H11	Sc	和田 努
H11	Sc	月東宏之	H12	Sa	河合秀人	H13	M	武本高明
H13	Sc	伊藤雄郷	H14	M	廣岡正人	H14	D	福本不比斗
H14	Ua	田中弘臣	H15	Ue	桜井 潤	H15	D	川嶋教孔
H16	M	中川秀幸	H16	M	中島 明	H16	F	塚本浩輔

☆白艇会費をくださった方(敬称略)☆

卒業年度	学科	御名前
S48	W	衣斐洋一(副会長)

ありがとうございました。大切にに使わせていただきます。

☆名古屋大学・名古屋工業大学対校戦☆

今回は記念すべき第 50 回目の節目となる対抗戦となりました。この度新船台も完成し、以前より出艇しやすくなりました。今年はOBの方々がたくさん集まってくださり、OB戦もエイトを出すことが出来ました。

日程：4月2日(土)

場所：愛知県名古屋市中川区 庄内川

(男子エイト&女子シングルスカル)庄内川 一色大橋～旧前田橋 1750m

(OB エイト)庄内川 一色大橋～旧前田橋 500m

出場種目：男子エイト

C : 神谷恭平	S : 下手貴史	7 : 西雪健次朗
6 : 澤津貴弘	5 : 石川敦正	4 : 土岐良太
3 : 平雄二	2 : 阿葉家淳	B : 天野賢治

女子シングルスカル (遠藤美沙)

OB エイト

C : 川嶋教孔	S : 月東宏之	7 : 廣岡正人
6 : 小掠隆広	5 : 武本高明	4 : 中西光昭
3 : 山出善章	2 : 桜井 潤	B : 原田重信

◎男子エイト◎

着順	クルー名	タイム
1	名古屋大学	6'09"72
2	名古屋工業大学	6'11"81

名大のエイトを横に、スタートの旗が振られた。スタートの位置は名工大が少し前にでる形だったが、スタートしてすぐにその差はなくなった。コンスタントで巻返しを図ったが漕ぎにいまひとつ伸びがなく、中盤で突き放されてしまった。そしてラストスパートでも追い付くことはできず、結局1艇身差をつけられ惜しくも名大に及ばなかった。

◎OB エイト◎

着順	クルー名	タイム
1	名古屋大学	2'14"22
2	名古屋工業大学	2'25"31

◎女子シングルスカル◎

着順	クルー名	タイム
1	名古屋工業大学(遠藤)	9'21"41
2	名古屋大学(山口)	9'21"91

スタートから名大をじりじりと離していきましたが、コースを大回りしたために逆転されてしまいます。しかし、最後まで諦めずなんとか追い上げてゴール！見事、名大戦女子スカル初勝利を飾りました。



クルーの言葉

男子エイト

下手 貴史(4年)

なんとしても勝ちたかった名大戦。シーズン最初のこの試合に勝って全員に自信をつけさせたかった。特に二年生には厳しい冬場の練習の成果を目に見える形でわからせたかった。ただ、負けたからといって今までの練習が無駄になるわけでもない。全員確実に成長している。

これから先、名大だけでなく中部地区・全国の大学、企業と戦っていかなければならない。今回の名大戦を意味のあるものにするためにも、この悔しさを力に変えて毎乗艇しっかり練習していきます。

西雪 健次郎(大学院1年)

今回の名大戦は四連覇がかかり、創部五十周年のシーズン初試合。そして、院生になってまで漕ぐ自分の目的は勝つことのみで、やる気は充分にあった。しかし、試合では名大の前に出ることなく負けた。名大の喜び様を思いだすだけで悔しい。これからつらいときは、この悔しさを思い出してやっていく。

土岐 良太(2年)

スタートから少しずつ離され、終盤で追い付き、「抜ける」と思った時には終わっていた。一漕ぎの差だった。自分の粘りきれなかった分、練習でやりきれなかった事の分がその差を作った様で悔しかった。もうこんな思いはしたくない。





神谷 恭平(4年)

今回の名大戦は今まで以上に自分たちで作上げた艇だったな、という感じが強いです。それだけに負けてしまったことがとても残念で悔しいです。

しかし、去年の自分よりも今の自分は確実に成長していると感じる点もありました。全日本へ行く澤津さんやコーチの方々からいろいろな知識を吸収し、さらに成長し、最後のシーズンを悔いのないようにします。

女子シングルスカル

遠藤 美沙(3年)

名大戦で女子初勝利となった。近差ではあったが、名大戦で勝つ事は自分にとって貴重な事だと思っています。これからの練習で、この勝ちを無駄にせず自信につなげていかなければならないと思います。これをきっかけにして、今までよりも勝ちを意識したレース内容にすることを考えながら、日々練習していきます。

応援に来てくださった方々(敬称略)

卒業年度	学科	御名前	卒業年度	学科	御名前	卒業年度	学科	御名前
特別会員		山内政勝	S33	D	木村弘之	S36	E	神谷昌宏(会長)
S48	W	衣斐洋一	S50	Es	浜岡重男	S53	E	川村信之
S53	M	佐野武雄(監督)	S53	A	神谷省次	S57	E	竹下隆晴(部長)
S60	Y	山出善章	H10	Zk	鈴木秀忠	H10	Sc	原田重信
H11	Sc	和田 努	H11	Sc	月東宏之	H13	M	武本高明
H14	Ua	田中弘臣	H14	M	廣岡正人	H14	Uc	中西光昭
H15	D	川嶋教孔	H15	Ue	桜井 潤	H16	M	中川秀幸
H16	M	中島 明	H16	F	塚本浩輔	H17	Z	羽生田真英
H17	M	小島隼人	H17	M	小掠隆広	H17	Sc	服部千晶
H17	Sc	荻須美樹						

☆中日本レガッタ☆

名古屋大学との対抗戦から2週間が過ぎ、中日本レガッタも今年で50周年という記念すべき大会が行われました。全日本に出漕する1×(澤津)、2×(下手、西雪)にとって次に繋がる試合となりました。

日程 : 2005年4月15日(金)~17日(日)

場所 : 愛知県愛知郡東郷町 愛知池

出漕クルー : 男子シングルスカル(澤津貴弘)

男子ダブルスカル(S:下手貴史 B:西雪健次朗)

男子舵手付フォア(C:神谷恭平 S:石川敦正 3:土岐良太 2:天野賢治 B:阿葉家淳)

女子シングルスカル(遠藤美沙)

◎ 男子シングルスカル◎

<予選> 1杯上がり

着順	クルー	タイム
1	名古屋工業大A(澤津)	3'41"33
2	三洋電機滋賀A(吉田)	3'47"29
3	岐阜経済大F(木下)	3'53"86
4	富山国際大F(星)	4'02"07
5	岐阜経済大K(三好)	4'02"82
6	貞山C愛知(堀)	4'11"07
棄権	大同工業大(菅沢)	

<準決勝> 2杯上がり

着順	クルー	タイム
1	名古屋工業大学A(澤津)	4'12"77
2	浜松BC佐鳴会(伊藤)	4'16"95
3	日田市ボート部(林)	4'18"70
4	全諏訪B(杉村)	4'28"15
5	岐阜経済大学F(木下)	4'28"75
6	関西電力美浜RCB(大塚)	4'29"90
7	大同工業大学A(石丸)	4'36"29

<決勝>

着順	クルー	タイム
1	名古屋工業大学A(澤津)	3'53"21
2	富山国際大学A(中島)	3'56"31
3	全諏訪A(牛山)	3'56"63
4	浜松BC佐鳴会(伊藤)	4'00"80
5	富山国際大学B(林)	4'01"45
6	富山国際大学C(磯貝)	4'03"35

決勝のレースではスタートで出られるが、徐々に遅れを取り戻し500mではトップに立つ。800mあたりからラストスパートをかけるが突き放すほどではなく1艇身程の差で優勝!



◎ 男子ダブルスカル◎

<予選> 2杯上がり

着順	クルー	タイム
1	岐阜経済大学A	3'29"92
2	関西電力美浜 RC、トヨタ紡織	3'30"09
3	全諏訪	3'33"39
4	名古屋工業大学	3'34"44
5	南山大学	3'59"26

<準決勝> 3杯上がり

着順	クルー	タイム
1	関西電力美浜 RC、トヨタ紡織	3'48"64
2	曾津磴漕会	3'51"11
3	名古屋工業大学	3'53"68
4	トヨタ自動車 B	4'01"69
5	南山大学 A	4'11"98

<敗復> 2杯上がり

着順	クルー	タイム
1	名古屋工業大学	3'27"80
2	名古屋大学 A	3'28"11
3	名古屋大学 B	3'50"79

<決勝>

着順	クルー	タイム
1	関西電力美浜 RC、トヨタ紡織	3'53"21
2	岐阜経済大学A	3'56"31
3	トヨタ自動車A	3'56"63
4	名古屋工業大学	4'00"80
5	全諏訪	4'01"45
6	曾津磴漕会	4'03"35



名工大ダブルはスタート直後で曲がるものの、500m地点で曾津磴漕会以外の5クルーはほぼ横並びであった。600m過ぎから上位3クルーと徐々に差が開き、全諏訪との争いとなり、ラストスパートで詰められたが4着でゴールした。

◎ 男子舵手付フォア◎

<予選> 2杯上がり

着順	クルー	タイム
1	トヨタ紡織	3'19"58
2	岐阜経済大学	3'35"22
3	浜松BC佐鳴会	3'41"34
4	名古屋工業大学	3'42"99

棄権 K. R. C

<敗復> 2杯上がり

着順	クルー	タイム
1	名古屋大学	3'32"50
2	南山大学	3'33"73
3	浜松 BC 佐鳴会	3'35"68
4	名古屋工業大学	3'37"61



スタートでいいのをだして他と並びいいリズムでいけたが500mくらいから一本の伸びの差がでてスパートでも追いつかず悔しい結果となってしまった。

◎女子シングルスカル◎

〈予選〉 3杯上がり

着順	クルー	タイム
1	関西電力小浜A(武田)	4'27"13
2	名古屋大学A(中井)	4'39"50
3	ソニー美濃加茂C(大野)	4'39"75
4	ソニー美濃加茂D(杉山)	4'41"70
5	名古屋工業大学(遠藤)	4'50"63

除外 中部電力(土田)

棄権 大垣共立銀行B(木全)

〈準決勝〉 2杯上がり

着順	クルー	タイム
1	ソニー美濃加茂 A(三輪)	4'49"66
2	関西電力小浜 A(武田)	4'56"29
3	大垣共立銀行 A(豊田)	5'01"69
4	ソニー美濃加茂 C(大野)	5'08"98
5	名古屋大学 A(中井)	5'11"73
6	名古屋大学 B(早川)	5'17"14
7	名古屋工業大学(遠藤)	5'19"17

〈敗復〉 4杯上がり

着順	クルー	タイム
1	中部電力(土田)	4'20"32
2	ソニー美濃加茂D(杉山)	4'29"68
3	名古屋大学B(早川)	4'33"79
4	名古屋工業大学(遠藤)	4'36"06
5	南山大学(渡部)	4'52"07

棄権 富山国際大学(有須)

スタートから出遅れた。悪条件だったからか、企業集団と学生集団がわかれる形となった。コンスタントで差をつけられることはあまりなかったが、結局そのままゴールとなった。



クルーの言葉

下手 貴史(4年)

今回は 1000mのレース、ここでいい結果が出せれば 2000mのレースでも絶対勝てると思い、この中日本レガッタに挑んだ。

結果は4位。まずまずだとは思う。しかし、大学のクルーでは岐阜経済大に敗れてしまった。予選、決勝と二度あつたが一度も勝てなかった。だいぶ差があるのを感じた。でも今回のレースで自分達は何ができていなかったか、これから何をしていけばいいかわかった。まだまだ速くなる自信はある。岐阜経済大との差をひっくり返す自信もある。

6月の全日本選手権は期待してください。

澤津 貴弘(4年)

今回は世界選手権の代表合宿において4-の練習をし、その中で漕ぎに対する新しいイメージを持ちました。『艇に対してマイナスを減らす』という話なのですが、合宿の前にはそのためにどうすればいいのか自分の頭にほとんどない状態でした。それが少しずつはっきりしたものになってきたように思います。合宿から帰ってすぐのレースではありましたが、1×でも同じように漕ぐことを目指しレースに臨んだのですが、緊張・風などの要因により表現できないまま終わってしまいました。

それはそれとして、優勝できたことはうれしく思っています。代表選手の中で1×に出漕しているのは僕だけだったので負けられないという思いが強かったのですが、賞状と一緒にカップを渡されると優勝ってやっぱりいいなって思いました。

次の試合までは時間があるので、より速いスピードを求め練習していきます。

天野 賢治(4年)

予選でも敗復でもスタートでは好調で他のクルーといい勝負ができと思ったが、後半から崩れ始め突き放されてしまった。疲れてから体力と技術の不足が出てしまい、さらに庄内川の大学にも負けてしまい、非常に悔しい試合となった。

石川 敦正(3年)

予選は今まで 1 番良いスタートができ、ダッシュ、スパート、コンスタントとそれなりにうまいこと繋げることができた。500mまでは隣りに岐阜経済大が視界に入っていた。やはり課題は後半らしく、レートはあがるものの漕ぎが悪く、逆にマイナスの力を与えていたようだ。

敗復についてはスタートについた時、予選よりクルー全体が落ち着いているように感じた。しかし、いざレースになるとやはり前半固くなっているせいで、後半に使う体力があまっておらず、ラストで全く艇が伸びなかった。練習不足が出てしまい非常に悔しいレースになった。



****応援に来てくださった方々(敬称略)****

卒業年度	学科	御名前	卒業年度	学科	御名前	卒業年度	学科	御名前
特別会員		山内政勝	S36	E	神谷昌宏(会長)	S37	K	佐藤余四於
S48	W	衣斐洋一(副会長)	S53	M	佐野武雄(監督)	H13	M	栗田剛志
H14	D	福本不比人	H15	Ue	櫻井順	H16	F	塚本浩輔
H16	M	中川秀幸	H16	M	中島 明	H17	M	小掠隆広
H17	Z	羽生田真英	H17	M	小島隼人	H17	Sc	服部千晶

☆白艇会費をくださった方(敬称略)☆

卒業年度	学科	御名前	卒業年度	学科	御名前	卒業年度	学科	御名前
S37	K	佐藤余四於	S48	W	衣斐洋一(副会長)	S53	M	佐野武雄(監督)

ありがとうございました。大切にに使わせていただきます。

お詫び

以前お送りいたしました艇跡増刊号に不備がありました。申し訳ありませんでした。今後このようなことがないように今以上に注意していきます。

別紙にて同封させていただきますので艇跡増刊号とあわせてご覧下さい。

今後の予定

全日本選手権

日程：2005年6月2日(木)～5日(日)

場所：埼玉県 戸田オリンピックコース 2000m

出漕種目：男子シングルスカル(澤津)

男子ダブルスカル(S:下手 B:西雪)

今大会では、男子シングルスカル(澤津)、男子ダブルスカル(S:下手B:西雪)の2艇が出漕いたします。残り1ヶ月となりましたが、部全体で力を合わせ、全力で練習に励んで参ります。今年もまた昨年のような戸田で名工大の部旗が風になびく姿をお見せし、また応援して下さったOB皆様方に感動をお与え致します。

また、5月28日(土)より国立艇庫にて合宿を行います。お時間がありましたら是非試合前にも足を運んで下さい。

中部学生選手権

日程：2005年6月25日(土)～26日(日)

場所：愛知県東郷町 愛知池漕艇場 1000m

出漕種目：男子シングルスカル

男子ダブルスカル

男子舵手付フォア

女子シングルスカル

全日本選手権に出漕しないクルーにとっては中部学生選手権が次の目標となります。中日本レガッタから2ヶ月悔しさをバネにしてきた名工大の強さを見せつけたいと思います。

詳しい試合時間などは決まり次第メーリングリスト、電話等でお知らせ致します。